



## 2018 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 (2018 SUPER FORMULA) 第 2 戦: オートポリス (大分県日田市) レース報告書

予選: 5 月 12 日 (土)

天候	晴れ
観客動員数	3,650 人
成績	ナレイン・カーティケヤン 選手 (#64): 17 位 伊沢 拓也 選手 (#65): 5 位

決勝: 5 月 13 日 (日): 悪天候により中止

天候	雨
観客動員数	4,750 人
成績	ナレイン・カーティケヤン 選手 (#64): N/A 伊沢 拓也 選手 (#65): N/A

### <予選レポート>

開幕戦から 3 週間、九州で唯一の開催となるオートポリスでの一戦を迎えました。例年、秋に開催されていたオートポリスでのレースが、今シーズンは初夏の開催となり、気候の影響に注目が集まっていました。開幕戦からポイント獲得で弾みをつける TCS NAKAJIMA RACING は、第 2 戦も上位フィニッシュを目指して予選に臨みます。

予選前に行われた 1 時間のフリー走行でマシンの確認を行い、15 時 50 分に予選 Q1 がスタート。風は強いものの、気温 24°C、路面温度 38°C と初夏を思わせる気候の中、各チームがミディアムタイヤを装着し、タイヤをウォームアップしていきます。1 セット目のタイヤでタイムアタックを終えた TCS NAKAJIMA RACING の 2 台は一旦ピットに戻り、タイヤ交換とセッティングの調整を行い、再度アタックに向かいます。ナレイン・カーティケヤン選手 (64 号車) はフリー走行のベストタイムを約 1 秒縮める好アタックを見せたものの、その後の小さなミスが影響し 17 番手に後退します。一方、伊沢拓也選手 (65 号車) は 1 分 27 秒 053 のトップタイムで Q1 を通過します。

Q2 では各車がソフトタイヤを装着してコースイン。伊沢選手は大事なアタックラップ中にウォームアップ中のマシンに阻まれる場面も見受けられましたが、1 分 26 秒 324 で 6 番手タイムを叩き出し、2 戦連続で Q3 進出を果たします。

Q3 では上位 8 台によるソフトタイヤを履いたワンチャンスの勝負になりましたが、伊沢選手は各セクターでの小さなミスが影響し、Q2 でのタイムを縮められず、5 番手で予選を終えました。

### <コメント>

中嶋 悟 総監督:

「カーティケヤンにはミスがあり残念でしたが、チームとしては開幕から 2 戦続けて Q3 で戦えるマシンパフォーマンスをお見せできたので、まずまずの結果といえるでしょう。明日は天候が心配ですが、これからしっかりと備えて決勝に万全の体制で決勝に臨みます」

ナレイン・カーティケヤン 選手:

“Our car was really good. But I made one small mistake at the corner 6th. That probably costed me to going to a Q2. But car at this time was very good on medium tires, we made a big jump from yesterday to today include a lot. And I made a small mistake, we are only point 6 off at Q1, but the only Position 17th. Grades were so tight. Much tighter than last year. Last year we could make it into Q2 even though we were 1 second off. But this time was so tight and we cannot just 100% need to do complete Lap mistakes but unfortunately there was one mistake”

「マシンのコンディションはとても良かったと思います。しかし、6 コーナーのヘアピンで小さなミスをしてしまいました。それがなければ Q2 に進出できていたと思います。ミディアムタイヤでのタイムはかなり向上しました。これは、昨日に比べれば大きな前進です。Q1 は 17 位の結果に終わりましたが、昨年より上位に肉薄しています。タイム差がわずか 1 秒圏内という緊迫した条件でレースしているので、ミスをしないよう頑張ります」

伊沢 拓也 選手:

「開幕戦に続き、Q3 へ進出できました。Q1 でトップを取れたのはよかったのですが、今年抱えているソフトタイヤのタイムアップという課題の部分でもう少し頑張らなければなりません。決勝レースは 5 番グリッドからのスタートになりましたので、表彰台を目指して頑張りたいと思います」

## <決勝レポート>

決勝は、朝から悪天候による視界不良のため、予定されていたフリー走行の中止が発表されます。その後、スケジュールが変更されます。決勝スタート前の 8 分間走行が 20 分間に延長し、14 時 15 分からフォーメーションラップが開始されることになりました。

しかし、午後になってもコースコンディションが改善せず、ウォームアップ走行はスタートしたものの、コースアウト車両が発生し、赤旗で中断となります。さらに雨量も増えたため、そのままセッションが終了。結局、スタート時刻になっても天候の回復が見込めず、主催者より第 2 戦の中止が発表されました。

## <コメント>

中嶋 悟 総監督:

「残念ながら、悪天候により第 2 戦は中止となってしまいました。やむを得ない判断だと思えます。悪天候にもかかわらず、サーキットへ足を運んでくださったファンの皆様を思うと、申し訳ない気持ちです。ポイント獲得に向けて準備してきたレースでしたが、次戦に持ち越しとなり、これも残念ですが、気持ちを切り替えて第 3 戦に臨みます。悪天候の中、オートポリスへお越しくくださったファンの皆様、本当にありがとうございました」

ナレイン・カーティケヤン 選手:



“I am sorry for race was canceled. But it could be very danger. On round 3, I will do my best. Thank you.”

「決勝が開催されず残念です。しかし、悪天候でのレースは危険なので、やむをえません。次のレースでは、全力を尽くします」

伊沢 拓也 選手:



「予選まではいい流れできていて、表彰台を目指そうという気持ちも強かったので、レースできなかったのは残念です。次戦に向けて、よい流れをキープして表彰台を目指します」

以上